

あと2年を切った！ 磐田新駅(仮称)開通

着々と磐田新駅(仮称)建設が進められています。「間もなく上り列車が来ます」と注意を促すアナウンスを聞きながらの工事現場です。在来線・新幹線を跨ぐ工事の大変さを感じさせます。交通機関の拠点が都市発展の拠点になること、当新駅が磐田市特に東部地域に将来にわたり計り知れない恩恵をもたらすことは歴史が証明しています。開業まであと2年を切りました。



西側坊中橋付近から工事現場を見る



神明中北側橋梁から見る駅舎工事現場・道路橋げた工事



新駅南口線から南口正面工事現場を見る

市は「都市計画マスタープラン」を策定し「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク型」の都市づくりを進めることを発表した(4/18)。豊田町駅・磐田駅・磐田新駅(仮称)のJR各駅周辺そして東名豊田PA周辺を都市拠点に位置付け、にぎわいや都市機能集積を目指すとする。そして他の地域拠点と接続する。下の写真は新駅北側の(都)磐田袋井線から建設中の新駅方面を見たものです。この駅前一等地とも言えるこの場所に、市所有地約3800㎡(2区画)があります。開通まで2年を切った今、どのような賑わいづくりを目指すか、都市機能を持ってくるかの検討とこの場所がどう

結びついてくるのか注目しています。



(都) 磐田袋井線から新駅北口方面を見る



北口工事現場から(都) 磐田袋井線方面を見る